

ニュートラシューティカルズ／機能性食品
農産食品(アグリフード)、化粧品、医薬品の各業界が交差する同分野で
フランスは欧州をリード

2008年6月17日 – フランスは、ニュートラシューティカルズ／機能性食品業界の投資先としてトップを走っている。Ipsos社の調査(2007年10月発行)によると、フランスでは「食品が健康に及ぼす影響に関心がある」と答えた消費者は52%に達しており、健康への効果を狙って開発された食品の市場は成長を続けている。2002年から2007年にかけて、フランスでは機能性食品市場における外国からの新規投資が200プロジェクトにのぼった。これは同市場のプロジェクト数の7%に相当するほか、同市場の5%にあたる9,610人分の雇用を新たに創出している(対仏投資庁のレポート記載の統計による)。

機能性食品のグローバル市場は現在1000億ユーロ規模、農産食品(アグリフード)市場全体の5%に達していると推定されている。フランスに限れば、同国の機能性食品市場は9億ユーロ(2006年)に達しており、年率推定10%以上のペースで急成長を続けている。

機能性食品を専門とする産業クラスターも複数存在し、ネットワークが拡大している。具体的には、ノール・パド・カレ地域圏のNutrition Santé Longévité(栄養・健康・長寿)、アキテーヌ地域圏のProd'Innov、ブルゴーニュのVitagora、モンペリエのQu@limesがあげられる。またフランス政府は、研究開発費用を対象に1年目は最大50%(最高1億ユーロ)を課税対象から控除する(2年目は40%、3年目以降は30%)という欧州トップレベルの研究開発税額控除制度を設け、国を挙げて研究開発活動を支援している。

製薬業界については、植物由来の製品を研究するArkopharmaや美容ビタミン剤「Juvamine」を製造するJuva-santéなどがきわめて積極的な研究活動を行っている。またサプリメント食品は製薬会社や化粧品会社が開発した技術革新をベースに業界の垣根を超えたパートナーシップに至る場合も少なくない。これらの事例として、ネスレとロレアルの協力による機能性食品の製品ラインである「Innéov」、ノバルティスとクエーカー・オーツの協力によるダイエット食品「Aviva」などがあげられる。

さらに、アグリフード業界全体でも数多くのプロジェクトが誕生している。この分野ではダノンとLactalisが、ビタミンや食物繊維を加えたライトでバイオアクティブな乳製品の開発についてしのぎを削っている。代表的な商品である、ダノンの乳酸桿菌を含むヨーグルト「アクティメル」は4億ユーロもの売上を誇る。また米国と日本の企業も重要なシェアを握っている。資生堂はしわ防止効果のあるアロエベラを含むヨーグルトを開発、クノール(ユニリーバ)は果物野菜飲料「Knorr Vie」や、コレステロール値を下げるヨーグルトやドリンクの機能食品を販売している。

「機能性食品分野はアグリフード、製薬、化粧品という3つの業界が融合した業界として大きく成長する可能性を秘めています。フランスはこれらの3業界にとりわけ強く、3業界すべてにおいて欧州トップの座を占めています」と、対仏投資庁長官フィリップ・ファーブルは述べている。

対仏投資庁(略称 AFII)

フランスへの国際投資誘致、進出企業向け支援を担当する国の機関。フランス国内および北米、欧州、アジア各国におかれた在外事務所を結ぶネットワークで機能している。詳細情報はウェブサイトをご参照ください
<http://www.investinfrance.org/Japan/> (AFII ホームページ)

詳細については、以下へお問い合わせ下さい。

在日フランス大使館 対仏投資庁 広報担当 ジェレミ・エルヴェ(Jérémy HERVÉ)

TEL : 03-5733-8208 (直通)

フランス大使館産業技術広報センター TEL : 03-3435-7455